

協議会総会 議事録7

【受賞者スピーチ：株式会社芦別RICE（優良事業者表彰 大臣賞）】

皆さん、こんにちは、北海道芦別RICEの沼田と申します。10日前から今日の挨拶を考えていたのですが、その原稿を自宅の靴箱の上に置いてきてしまって、今、頭の中が飛んでいます。思い出しながらお話しさせていただきたいと思います。

農林水産大臣賞を頂きまして、身に余る光栄、そして、各関係機関の方々のご指導・ご鞭撻、そして私も農家なのですが、地元の農家みんなで頂いた賞だと実感しております。ありがとうございます。

昨日出発してきたのですが、芦別は今週もうマイナス14度でダイヤモンドダストが1回出ました。それくらい寒い地区です。上川盆地のはしりの地区で、地図でいうと旭川の下、富良野の左。隣の有名な市町村を借りないと、なかなかご説明のできない市町村です。その中で、みんなで農家をやりながら、国内だけでこのまま食べて行けるのかどうか15年ぐらい前から議論しました。いろいろな商社さんのきっかけもございまして、輸出に取り組みました。今年度は1240トンを超えて海外に送り込みました。日本食ブームにも乗って、どんどん増やせたらいいと思っています。ただ国内が今年、このような高騰になってしまって、長い目で見ればやはり転作は必要なので、その分を輸出に回していきました。今年だけはお得感がちょっとなかったのですが、来年また増やして、どんどん海外に向けて輸出したいと考えております。

地元の芦別市長から、せっかくだから芦別をPRしてくれと言われたのですが何もなくて、自慢するところが、まず、おいしい空気。あと、星がきれいです。星がきれいなのは、夜7時になると高齢の町なので電気が消えます。夜空がめちゃくちゃきれいです。それが自慢できます。お米にいい、おいしい水が流れています。全て自然で、無料です。ぜひ芦別に来てください。

以上で挨拶を終わります。とても緊張しました。ありがとうございました。

協議会総会 議事録8

【受賞者スピーチ：株式会社カクニ茶藤（優良事業者表彰 大臣賞）】

ただいまご紹介を頂きました、カクニ茶藤の森藤でございます。本日はこのような素晴らしい賞を頂き誠にありがとうございます。

弊社は1977年創業のお茶屋でございます。創業者は加藤エイジといいます。エイジは秋田県大館市出身で、単身、静岡に移住をしてお茶屋さんで修行をした後、独立したというのが弊社のルーツになります。

弊社の企業理念に「不易流行」を掲げております。芯にある信念は変えず、変化をすることこそ継承・継続につながる。また、変化を恐れるのではなく楽しむことがモットーという社風は、創業者エイジの思いが今でも息づいている証です。

弊社は東日本大震災により経営危機に瀕し、約12年前、経営資源を海外輸出に投下することを決断いたしました。その時、最初に採用されたのが私でございます。

私は入社してすぐに、有機茶栽培のパイオニアとして名をはせている生産者とアメリカのお客さまの通訳をさせていただきました。お二人ともお茶のことを質問したり、アメリカの市場のことを質問したり、お茶の品質について熱く語り合う、すごく濃密な時間でした。その時、お二人にこう言われました。「長年お付き合いをされていて何度も会っているけれども、こんなに意思疎通がうまくいって思いが通じ合ったのは初めてです。通訳ありがとう」。その時のことを、私は今でも鮮明に覚えています。当時、そのお客さまは玄米茶をご購入いただいていたのですが、今ではそのお客さまには100種類以上の商品をお取り扱いいただき、売り上げも100倍に伸びました。

日本茶、特に抹茶は、世界中で大変評価を頂いております。そんな魅力ある商品を生産者の皆さまと運命共同体になり、一丸となってお客さまと向き合っていることこそが、ご評価を頂いている一つの要因だと強く感じます。抹茶をお求めになるお客さまは年々増えており、輸出対応の茶園拡大、生産設備の強化、輸出、品管・品証体制の構築と目まぐるしく取り組んでおります。農業人口の低下や産地を中心とした世界基準の対応など課題は多くございますが、確実に拡大しているお茶の需要に応えるために日々邁進してまいります。

これからも多くの方の力を借りながら、微力ながら茶業と日本に貢献してまいり所存でございます。本日はどうもありがとうございます。

協議会総会 議事録9

【受賞者スピーチ：スターゼン株式会社（優良事業者表彰 大臣賞）】

スターゼンの横田でございます。このたびは農林水産大臣賞を頂きましたこと、大変光栄に存じます。今回の受賞は私どものように国内を中心に食肉関係の仕事をしてきた者にとって、今後、海外に向けての営業をさらに拡大していく上で大きな後押しとなります。改めて御礼申し上げます。

さて、私どもスターゼンが和牛の輸出に取り組んだ背景には、もちろん日本国内の人口減少に伴うマーケットの縮小にどのように対応していくかというところがございます。ただそれ以上にありますのは、実際に海外のお客さまが日本で育てられた和牛を初めて食され、今まで食べたことのないおいしさだ、本当に素晴らしいと笑顔で話される場面を国内外で多く見てきたからで、これが一番だと思っております。

海外への和牛販売は私たちの経営理念である「食の感動体験を創造することで世界中の人々と食をつなぎ続ける」という、こちらにつながってまいります。世界中の人たちに和牛を食した際の感動体験を味わってもらいたいという強い思いから、輸出認定工場の整備に努め、現在では関係各所のご助力もあり、51の国と地域に向けて和牛をお届けできる体制を築くことができています。

また、私どもが今、特に力を入れておりますのが、和牛の切り方や食べ方の提案でございます。薄切り肉を食すという日本と同じような文化を持つ国は少なく、需要はステーキ用として使われるロイン系の部位に集中しております。ロースに限らず肩やももを含めたいろいろな部位の切り方や使い方を教えられる人材の育成に力を入れ、協会のご支援も頂戴しながら、海外のお客さまに向けて国内外で試食会やカッティングイベントを開催してまいりました。引き続き、国内はもとより海外での新しいマーケットの開拓に力を入れ、和牛の魅力を世界中に届け続けてまいります。

結びとなりますが、私たちを支えてくださいました全ての皆さま、日頃ご助力を賜っております農林水産省ならびに関係団体の皆さまには心より感謝を申し上げます。この受賞を励みに、今後も一層努力し挑戦を続けてまいります。

私も業界に入り38年、本当に牛肉の販売を一生懸命にやってまいりました。今日は目標とする村上社長の前にスピーチの機会を与えられて大変恐縮しておりますが、ますます村上さんに続けということで頑張っていきたいと思っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。ありがとうございました。

【受賞者スピーチ：和牛マスター輸出拡大コンソーシアム（優良事業者表彰 大臣賞）】

エスフーズ株式会社の村上です。このたびは私どもの輸出事業に対し農林水産大臣賞の栄誉を授かり、心から御礼を申し上げます。先ほどスターゼンの横田社長からいい挨拶を頂きましたので、挨拶を変えまして少しお話ししたいと思います。

和牛マスターも約二十数年前から海外に向けた輸出を心がけて、和牛マスターの新しい屠場ができてからはまだ10年足らずですが、よその施設をお借りして、まず最初に、日本の和牛の代表である神戸ビーフの海外輸出を始めました。

この輸出を始めるといのは、海外の方がおいしいものを食べたいという欲望もあったと思うのですが、日本の将来が人口が減ってくる、そういういろいろなことを考えながら、われわれ後発の企業は海外に目を向けて輸出をしました。順調に海外で輸出の文化も広がって行って、特に東南アジアでは箸の文化も結構通用するので、先ほど言われましたようにステーキやハンバーグ以外にも、和牛のすき焼き、しゃぶしゃぶ、そういうものがかなり出るようになってきたのですが、今、僕たちが一番懸念するのは、本当にかんりの投資がかかるのに、それが何かの事情で海外に輸出ができないとか、どこかの国の規制があって何かできないとか、輸出に対するハードルが非常に高いのです。それは当然、当たり前だと思うのですが、うちの会社もアメリカでパッカー、同じような食肉の工場を持っていますが、アメリカの規格と日本の規格、つまり規制が、かなり違うようなことが多々あります。日本の厚労省も農水省もいろいろな努力はしてくれているのですが、われわれ事業当事者からすれば、何かちょっと違うのではないかと思うことも多々見られます。そういうことも当然、行政の方がいろいろなことを考えてやってはくれていると思うのですが、一つ間違えると海外での輸出事業は本当に大変なことになると思うのです。

より一層、農林水産省の方にお願ひしておきたいのは、われわれの後押しをしてくれとは言いませんが、スムーズにいろいろなことができるようにということです。何か問題があったら今までも、特に牛肉に関しては、国の支援というのは本当にありがたいくらい支援をいっぱいしてもらっていますけれども、そういう輸出に向けたときのリスクの高さを低減できるように、ここで一つ頼んでおきたいと思います。

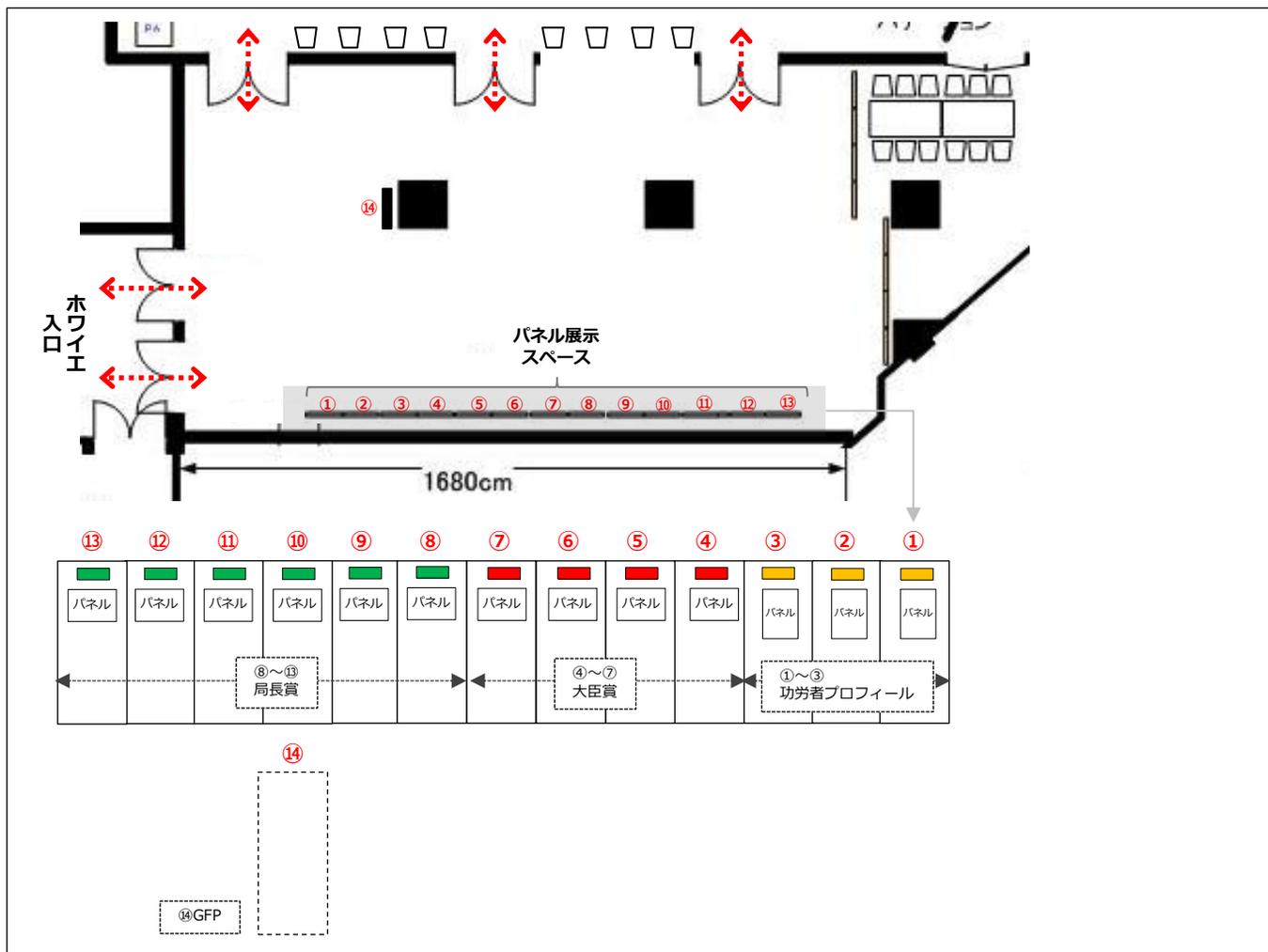
これからも頑張って輸出に努めますので、よろしく後押しのほどお願いいたします。今日はどうもありがとうございました。

令和6年度
日本食・食文化の魅力発信による日本産品海外需要拡大委託事業
(日本食・食文化の功労者等表彰)

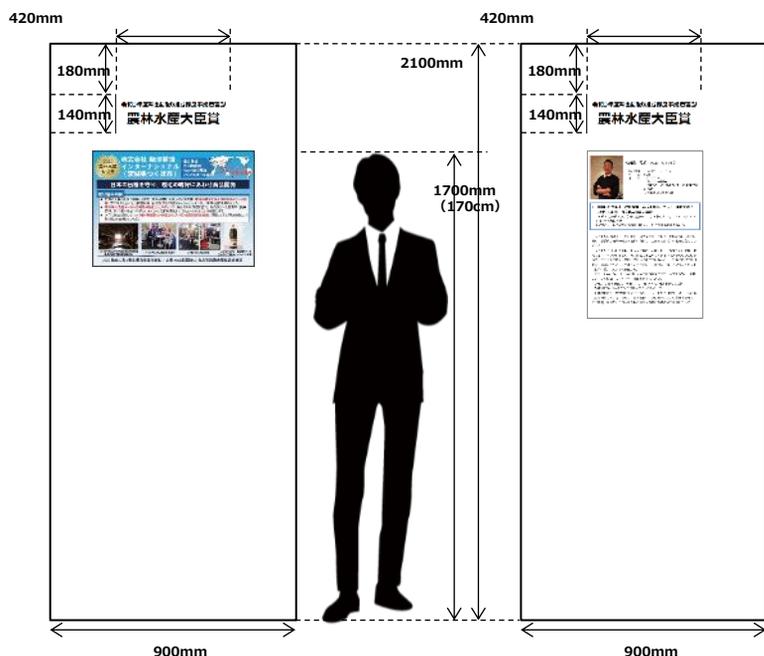
協議会総会 制作物

パネル展示スペース

■1F 大宴会場 「鳳凰」 ホワイエ



■パネル展示レイアウト



▽キャプション (レイアウト記載色)

- 第18回
日本食海外普及功労者表彰
受賞者プロフィール**
- 令和6年度輸出に取り組む優良事業者表彰
農林水産大臣賞**
- 令和6年度輸出に取り組む優良事業者表彰
輸出・国際局長賞**